

兵解協だより

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と良いお年をお迎えになられましたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は国民の政治不信が渦巻く中、10月に衆議院選挙が実施され、政界再編が叫ばれましたが、与党の圧勝という結果になりました。これにより既定の経済政策等は現状維持となり、日本経済にとっては歓迎すべき結果となりました。その後、大企業の収益の大幅な改善が見込まれており、さらに株式相場が年初来の高値をつけるなど、経済指標は改善されておりますが、中小企業や家計には景気回復の実感が及んでいないのが実情のようです。

このような中、解体工事業を取り巻く社会経済情勢は、依然として厳しいものがあり、深刻な人手不足や高齢化社会がますます進展し、後継者の育成、技術の伝承など様々な課題が山積みしておりますが、兵庫県解体工事業協会として一丸となって困難に立ち向かう所存でございます。また一方では、兵庫県知事との「防災協定」の締結に引続き、平成29年11月17日に兵庫県警察本部長と「災害時支援協定」を締結するとともに、平成30年1月17日に姫路市長と「防災協定」の締結を行うなど、積極的に「社会的貢献」を推進して信用力を高めていくこととしております。そのほか、「兵庫県建設産業団体連合会」に加入するとともに、「兵庫県産業廃棄物協会」と相互加入をするなど、協会がさらに発展をするよう努力しているところでございます。

このような状況の中、当協会といたしましては、解体工事業の団体・企業が全体としてレベルアップを図ることが必要で、このためには「法令の遵守」、「技術力のさらなる向上」、「さらなる社会的貢献」を推進していく必要があります。今後協会員の皆様方と結束をさらに深め、協力し合って、協会のさらなる発展のために共に努力をしてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、当協会にご理解とご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。また、協会員の皆様方をはじめ、関係各位の皆様方のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



兵庫県解体工事業協会

会長 上原 満